

平成27年度市政懇談会(口之津・加津佐地区)会議録

【期日】 7月17日(金)

【場所】 口之津公民館

【参加者】 43人

1. <①障がい者支援、②防災行政無線>

【意見】

①私は中度の聴覚障害があり、これまで筆談等と口の動きをみてコミュニケーションをとってきたが、だんだん進行して聞こえなくなってきた。そのため手話を集中して覚えていきたい。市主催の手話の講座はあるが、一般市民が対象であるような気がする。一般的な障害についてはバリアフリー等があるが、聴覚障害者においてはコミュニケーションがとれないというバリアがつきまとう。勉強はテレビで手話を見る程度しかない。住みやすいまちをつくるなら、コミュニケーションがとれない人のための支援を。

②聴覚障がい者には、防災無線の文字機能を検討されていると聞いたが、島原市では現実に設置が進んでいる。台風がきたこともわからない。長崎市では避難すべき時でも、南島原は避難の必要がないときもある。文字放送の戸別受信機の話はどうなっているのか。

【回答】

福祉保健部長

①手話を勉強したいとのことですが、毎年、市では手話の養成講座を実施しており、希望者には講座を実施していますが、以前、南島原市が主催する手話講座を受講されてたと聞いております。改めての受講に関して、市として再受講は認めておりませんが、講師の許可をもらえれば、見学は可能と思います。中途失聴者の為の手話講座は、県の情報センターで開かれています。ただ、通うのが大変と思います。市では中途失聴者を対象とした手話講座はありませんので、手話サークルや地域のろうあ者の方と交流を持ち、その中で手話の習得を目指すのが一つの方法ではないでしょうか。聴覚障がい者の方への支援ですが、市では手話通訳者を2名配置し、聴覚障がい者のサポートをしています。それ以外にも、県のろうあ協会に対して要約筆記者・手話通訳者の派遣を要請し、聴覚障がい者の支援の充実を図っています。

総務部長

②防災行政無線の受信機の文字放送については、いろいろ検討してきましたが今年度中にいろいろ検討し、方針を出すようにします。それから2年から3年かけて導入していきたいと考えています。

2. <商工業>

【意見】

口之津の街路灯は県の補助を受け、街路灯組合で運営しているが、昨年あたりから電気代が上がり、年間50万ほどかかっている。維持費等を市で面倒みてもらえないか。

【回答】

総務部長

今後の予算が伴い、また口之津町以外もありますので、整合を図りながら商工会とも協議して前向きに検討していきます。

3. <危険家屋>

【意見】

東大泊自治会には危険家屋が4件ほどある。所有者不明の家屋は市で所有者等を見つけることができるのか。特措法では最終的には強制執行で解体するということですが、その後の除草等の対処は誰がするのか。また、市で勧告等を出してくれるのか。

【意見】

建設部長

市で家屋の所有者を見つけることは、権限が与えられたので可能です。危険家屋となれば市は対応する義務があります。解体後の土地の草等は所有者の管理となります。空き家対策の推進に関する特別措置法が2回に分け施行されましたが、その中身は、危険家屋の所有者に対し市が助言指導を行い、それで解決しないときは勧告、それでも解決しないときは命令、命令に従わない場合は強制代執行という流れです。

4. <①道路・交通、②自治会>

【意見】

①広域農道の安全対策について、国道の通行止め等が多発している。霧等で数メートル先も見えず危険である。広域農道は国道通行止時の迂回路となるので、中央線に点滅等を設置してほしいが、困難であれば中央の白線だけでも引いてほしい。また、広域農道の表示板があるが小さい。夜でも分かるようにしてほしい。

②各自治会から要望事項が上がってくると思うが、進捗状況が分かりづらいため、自治会長の引き継ぎに支障を来す。聞かれたときに答えられない。要望の進捗状況や年度内にできない理由等を事前に教えてほしい。

【回答】

農林水産部長

①広域農道の管理は市でしており、予算は3市で管理しています。白線や点滅灯の整備は市単独ではなく、グリーンロードの管理運営協議会で対応しています。確かに国道251号の迂回路となり、緊急に整備の必要があると思うので早速現場確認し、その結果を自治会長にお伝えします。広域農道の表示板については承知いたしました。

総務部長

②自治会の要望について、年度内にできないものがあれば、できない理由を翌年度の自治会長に引き継ぐ時期に、行政側から自治会長に今後報告するようにします。遅くとも年度当初の自治会長会議時に報告します。それ以前の総会あたりで必要な場合は、年度末までぐらいにできるだけ報告いたします。

建設部長

②今年の4月に自治会長会議でも、要望のあったところのその後の回答がないとのご指摘を受けました。今後はきちんと回答をさせていただきます。手つかずのところが多々ありますが、計画的に減らしていきます。新規の要望も出てきますので、緊急性等や他の事業との関連性を考慮しながら進めてまいります。

5. <市営団地>

【意見】

白浜団地は築20年を経過している。現在、外壁のカビやパイプの錆などが発生している。メンテナンスをお願いしたい。

【回答】

建設部長

今後内部で協議して、対策をしていきたいと思えます。

6. <少子化対策>

【意見】

地方創生について、人口が減っていることは20年前から分かっていた。南島原市に住んだ場合のいろいろなメリットをつくって、南島原市に来てもらうような施策を考え、人口を何人増やすんだという目標を立てて、官民一体となって頑張ってもらいたい。

【回答】

市長

どうにかしてこの市に人が増えるような手立てを考えている。ここに住んでいただけるような手立て

を考え、一生懸命取り組んでいます。

7. <①市政懇談会、②口之津港再整備、③少子化対策>

【意見】

- ①口之津に住んで30年経つが、若い人が少ない。この懇談会にも若い人が少ない。市政懇談会の開催はいいことであるが、どういうコンセプトでされたのか。また、多くの質問が出ているが、自治会は自治会で話の場があっていいし、ここは自治会だけの話の場ではない。また、市長の説明にプロジェクトは必要ない。市長の生の言葉でいいと思う。今後考えてほしい。
- ②口之津港の再整備については素晴らしいことだと思うが、地元の人たちにあまり知られていない。もっと新聞や広報紙等で周知すべき。何もなければ地元の人も「聞いていない」としかならない。
- ③少子化について、口加高校も生徒数が減っている。10年前の生徒数が3分の1に減っている。親としては、本当は地元の高校にやりたいと思っているが、校区外や市外の私立等に行ってしまう。校区内に通ってもらうような、負担の補助等の支援が必要であると思うが。

【回答】

市長

- ①懇談会に若者が少ないとのことですが、できるなら若者も一緒に参加してもらい、若者の思いも聞きたいと考えています。市政懇談会のあり方を精査していきます。

教育長

- ③「地元高校に自治体は支援を。」という考えは、そのとおりだと思います。小中学校と高校がどう連携ができるか話を進めています。特色を出して支援・再生していきたいと考えています。

企画振興部長

- ②7月の広報紙には少し載せていますが、周知不足でした。今後、進捗状況等を発信してまいりよう、心がけます。

建設部長

- ②口之津港再整備は3月に100名以上の参加の説明会をしました。現在、ターミナルの設計の準備中です。コンサルタントが決まり、計画の段階である程度絵が書けたところで口之津の方々にも説明をしていこうと考えております。

8. <①前浜周辺整備、②島鉄跡地>

【意見】

- ①島鉄跡地はどうなっているのか。
- ②加津佐の前浜の活性化検討委員会があったが、進捗状況は。

【回答】

市長

- ①島鉄跡地は、以前は担保の問題があり進みませんでした。その問題は片付き、島鉄から市への無償譲渡の話が出ました。市の将来を考えれば、頂くべきだと思っています。
現在、無償で頂く方向で手続きの面話に入っています。
- ②加津佐の前浜周辺整備については、駅舎やバンガロー等については無償譲渡から外すということで島鉄から話がありますが、借りることで活用はできると思っています。前浜周辺整備の計画はちゃんと引き継いでいます。

9. <猿の出没>

【意見】

近頃、猿が頻繁に出没する。こどもの登下校時間に出ると危ないし、農作物被害も出る。市は防災行政無線等で「目を合わせないで」との放送だけしかしない。どう考えますか。また、麻醉銃等で生け捕りにできないのか。

【回答】

市民生活部長

市内でもあちこちで猿が出没している状況です。以前はその対策として「知らないふり」をするなどがありましたが、最近は県の対策が、「猿を見たら追っ払ったり、食べ物を置かないようにする」などに変わってきている。今後、市民の皆様に、猿の詳しい対策についての情報を流していかなければならないと考えています。
駆除できる動物は決まっており、サルはそれに入っていないので猟銃では撃てません。猿がどこに出没するのか分かりませんし、生け捕りの方法も分からないので、この場では即答できません。

10. <プレミアム商品券>

【意見】

プレミアム商品券が商工会加盟店で使えるとのことであるが、店の選定方法はどうか。加盟店とそうでない店では同じ商品でも売れ行きに差が生じる。加盟していない店への配慮は、商工会に丸投げなのか。

【回答】

企画振興部長

発行は商工会に委託して商工会でされています。今回、商工会では負担金を取らないように決定し、商工会で呼びかけしていただき店舗を増やしていただきました。すべての店に呼びかけが行き渡ったのかは確認しておりませんが、市としても配慮が足りなかったと思いますので、ご指摘の分は検討させていただきます。